

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	28-13	プラン目標を意識したケアの実施の実現に向けて、記録の取り方や、新しい共有の仕組みについて、職員で話し合って実施されることに期待したい。	職員全員が、ケアプランを念頭に置いた支援の実践。	・毎日、職員が目を通しやすい様、介護記録のバインダーに挟み込む。	1 か月	
2	'10-7	意見箱の活用として、意見用紙を事前に配布して来所時に入れてもらうようにしたり、呼びかけを行っても良いのではないだろうか。	家族、施設外の方からの意見を頂く。	・来訪者、面会者に意見用紙を手渡し、意見箱への投函依頼する。 ・アダーズ便り送付時に、意見用紙同封し来所の際持参して頂く。	1 か月	
3	51-21	外出機会を増やしたいとは考えているが、感染予防やスタッフの負担やリスク等も加味して実現が難しいところもある。安全面に配慮された現実的な取り組みを職員間で継続協議されることに期待したい。	安全第一で外出の機会を増やす。	・ふらっとカフェの参加、ホーム周辺の散歩、花見、野球観戦など、家族にも4協力を頂き、安全な支援に取り組む。	3 か月	
4	'14-10	人権関連団体の資料や動画等を使った研修や、自治体等の関連する研修などについても機会があれば参加、活用を検討されても良いのではないだろうか。	人権に関してより深い理解と感心を持つ。	・資料や、DVD動画を使った研修開催し共有する。 ・外部研修、講座案内行う。	12 か月	
5	'8-6	より制度についての理解を深めるために、研修内容の見直しや、外部研修の参加を含めた取り組みがなされることに期待したい。	職員のスキルアップを図る。	・医療機関に研修依頼を継続。 ・全スタッフが参加しやすくするため動画による研修を取り入れる。 ・成年後見人制度について追加研修の実施。	12 か月	
6	37-16	時には防災訓練と同日に運営推進会議を行って、地域の方や家族と協力体制を作るような取り組みもあって良いのではないだろうか。	防災訓練に地域の方、家族と一緒に取り組み、非常時の協力体制を整える。	・8月の運営推進会議で防災訓練の案内し、参加して頂く。 ・非常時の協力をお願いする。	6 か月	
7	'2-2	施設の立地や設備を提供して、地域のコミュニティづくりやサークル活動のような取り組みが出来ればよいかとも考えている。今後の実現にも期待したい。	地域の方や家族と交流を深める。	・よかトレ参加者募集の発信を継続する。 ・地域行事の参加。 ・行事、イベント時に招待する。 ・ふらっとカフェの参加。	12 か月	

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		
実施段階		取り組んだ内容 (↓該当するものすべてに○印)
1	サービス評価の事前準備	<input type="radio"/> ①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		<input type="radio"/> ②利用者へサービス評価について説明した
		<input type="radio"/> ③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		<input type="radio"/> ④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
		<input type="radio"/> ⑤その他()
2	自己評価の実施	<input type="radio"/> ①自己評価を職員全員が実施した
		<input type="radio"/> ②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		<input type="radio"/> ③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		<input type="radio"/> ④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		<input type="radio"/> ⑤その他()
3	外部評価(訪問調査当日)	<input type="radio"/> ①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		<input type="radio"/> ②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		<input type="radio"/> ③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		<input type="radio"/> ④その他()
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="radio"/> ①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		<input type="radio"/> ②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/> ③市区町村へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った(予定である)
		<input type="radio"/> ④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/> ⑤その他()
5	サービス評価の活用	<input type="radio"/> ①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		<input type="radio"/> ②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		<input type="radio"/> ③「目標達成計画」を市区町村へ説明し、提出した(する)
		<input type="radio"/> ④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
		<input type="radio"/> ⑤その他()